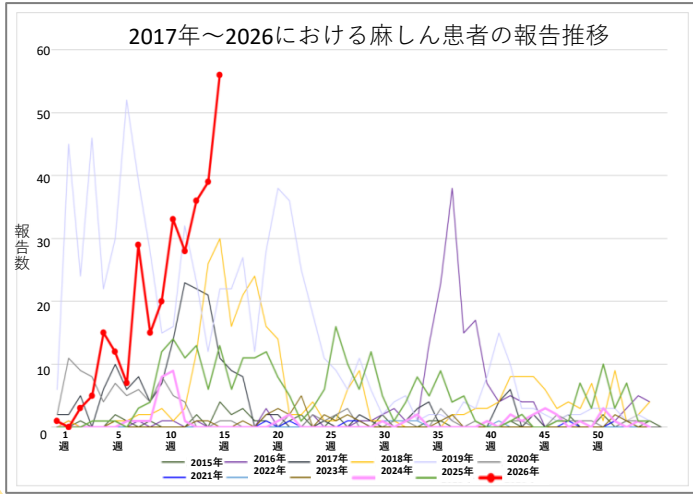


感染症だより

能登中部保健福祉センター
令和8年5月1日 発行

△麻疹（はしか）が国内で急増しています△



出典：厚生労働省「麻疹の現状と対策について」

麻疹は非常に感染力が強く、インフルエンザの約10倍とされています。

国立健康危機管理研究機構（JHIS）によると、2026年は国内の報告数が急増しており、海外渡航歴のない人の感染もみられています。

現在、県内での発生は確認されていませんが、大型連休など人の往来が増える時期には、感染拡大の可能性は十分にあります。

ワクチン接種を受けましょう



麻疹は手洗い・うがだけでは
予防できません。

大切なのは、ワクチンの2回接種です

1回では十分な免疫がつかないこともあります。確実に2回接種することが、ご自身や大切な人を守ることに繋がります。

接触後 72 時間以内の

ワクチン接種も有効です

患者と接触した場合でも、72時間以内にMRワクチンを接種することで、発症を防げる可能性があります。

麻疹の詳細についてはこちら（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html

麻疹の症状

10～12日間の潜伏期間を経て、
発熱・咳・鼻水・結膜充血症状・発疹など

麻疹の何が危険？

基本 再生産数

12～18人
インフルエンザ
の約10倍、新型
コロナの約6倍

発症率

免疫がない人
の発症率は
ほぼ100%

合併症 発症率

合併症(肺炎、
中耳炎、脳炎
等)発生確率は
約30%

麻疹の疑いがある場合は、

必ず事前連絡をした上で

医療機関を受診してください

直接の来院は感染を拡大させる恐れがあります。